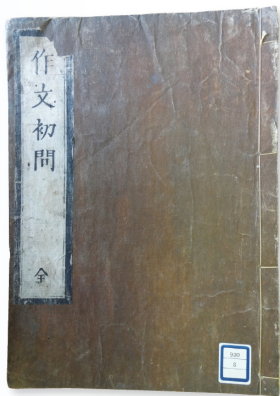


『作文初問』



請求記号920/S 版本1冊。縦 25.1cm×横 18.2cm。  
27 丁、内 3 丁は広告。1 面 10 行。外題(左肩・貼外題)「作文初問 全」、内題「作文初問」。奥付「寶曆五乙亥初夏／爲學初問 周南先生著／東都／御書物所 山城屋茂左衛門」。

漢文を書く上での注意書である。本書における版本は宝暦 5 年 (1755) が唯一の刊行であるが、当該書はその中の一つで、『国語論究 3 文章研究の新視点』に、遠藤好英氏によって影印されている書と同じ版。ただし当該書の存在は『国書総目録』にも日本古典籍総合目録データベースにも記されていない。

近世における作文指南書は藤原惺窩の『文章達徳綱領』をその嚆矢とし、以後、荻生徂徠の『訓訳筌蹄』などがそれに続くが、本書はその流れに

ある。『文章達徳綱領』が元の『文章政治』や明の『文章一貫』を抄出したものであり(大島晃氏「『文章達徳綱領』の構成とその引用書—『文章政治』等を中心に」、徂徠の文論が陳元贊『昇庵詩話』から出発しているのと同様に(小野「荻生徂徠の詩文論と陳元贊『昇庵詩話』—「古文辞」学の出発点として—」、本書も主として明代の文論に依拠しているが、李攀竜・王世貞の言や『文章政治』などを抄出している点では、『文章達徳綱領』の形態を踏襲していると言える。

作者、山縣周南は、周防の人。貞享 4 年 (1687) 生まれ、宝暦 2 年 (1752) 8 月 12 日没。荻生徂徠に師事し、長州藩藩校・明倫館の二代目学頭となる。

(日本語日本文学教授 小野泰央)